

全国街路事業促進協議会
会長賞

都市計画道路 石越駅四ツ谷線整備事業

(表彰対象者：宮城県若柳町中町商店街事業協同組合)

表彰の理由

建設にあたり地元商店街が建築協定を結び、自主的にセット/バックし、ゆとりある歩道空間を設けるなど、歩行者に配慮した設計を行った。
また、歩道、照明灯、植栽樹、ベンチ等のデザインに配慮して都市環境の形成に貢献するとともに、維持管理についても地元協同組合の協力がある。

事業のあらまし

本路線は、JR東北本線石越駅を起点とし、若柳町を東西に貫く幹線街路で、当該中町地区では交通渋滞の緩和、安全で快適な歩行空間の確保を図ることにより健全で魅力ある街並みの形成をめざし、街路事業と合わせ商店街近代化事業を導入して整備したものである。

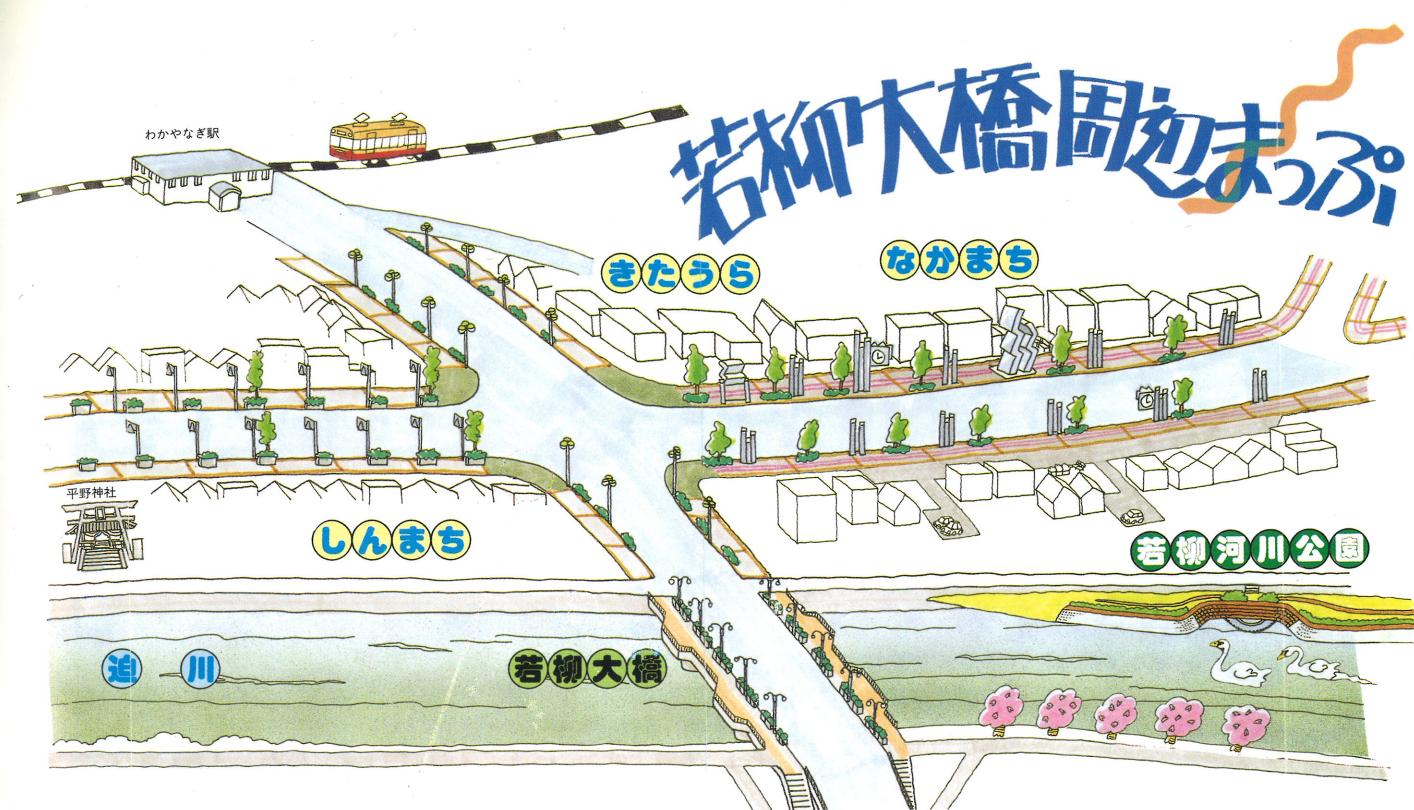
- 延長：441m
- 幅員：16～17m
- 事業費：2,635百万円
- 事業実施期間：昭和59年～平成3年



3つの商店街の意見を取り入れ、特色あるモダンな街並み。



歩道もなく、雑然とした整備前の街並み。



「わかやなぎ」の緑と迫川や伊豆沼の水の流れをイメージしたカラーブロック舗装。



各商店街がデザインした街灯、旗立て、街路樹。



商店街を無電柱化し、ベンチやゴミ入れなど環境施設を設置した広々として快適な歩道空間。

事業遂行上の工夫

川北地区商店街は、石越駅四ツ谷線沿いも含めて、北浦・中町・新町の3つの商店街から成り立っており、中町においては商店街近代化事業を導入するなど各商店街の個性を生かしつつ調和のとれた街づくりを行った。街路の無電柱化、歩道のカラーブロック舗装、各商店街の個性を生かした街路灯などが主な特長となっている。